

国保医療費

(一人当たり年間)

梶原町

	H15	昨対伸率	H16	昨対伸率	H17	昨対伸率	H18	昨対伸率	H19	昨対伸率	H20	昨対伸率	H15から H20平均値
一般	210,979	-	256,245	21.46%	237,819	-7.19%	241,093	1.38%	229,890	-4.65%	278,489	21.14%	242,419
対県比率	88.50%	-	106.57%	-	94.52%	-	93.43%	-	85.89%	-	88.32%	-	92.56%
退職	351,961	-	329,289	-6.44%	380,718	15.62%	470,796	23.66%	397,491	-15.57%	333,713	-16.05%	377,328
対県比率	93.28%	-	88.29%	-	96.71%	-	115.95%	-	92.84%	-	88.49%	-	96.13%
老人	667,484	-	676,274	1.32%	777,369	14.95%	822,714	5.83%	805,076	-2.14%			749,783
対県比率	75.43%	-	73.47%	-	79.35%	-	82.22%	-	76.58%	-			77.51%

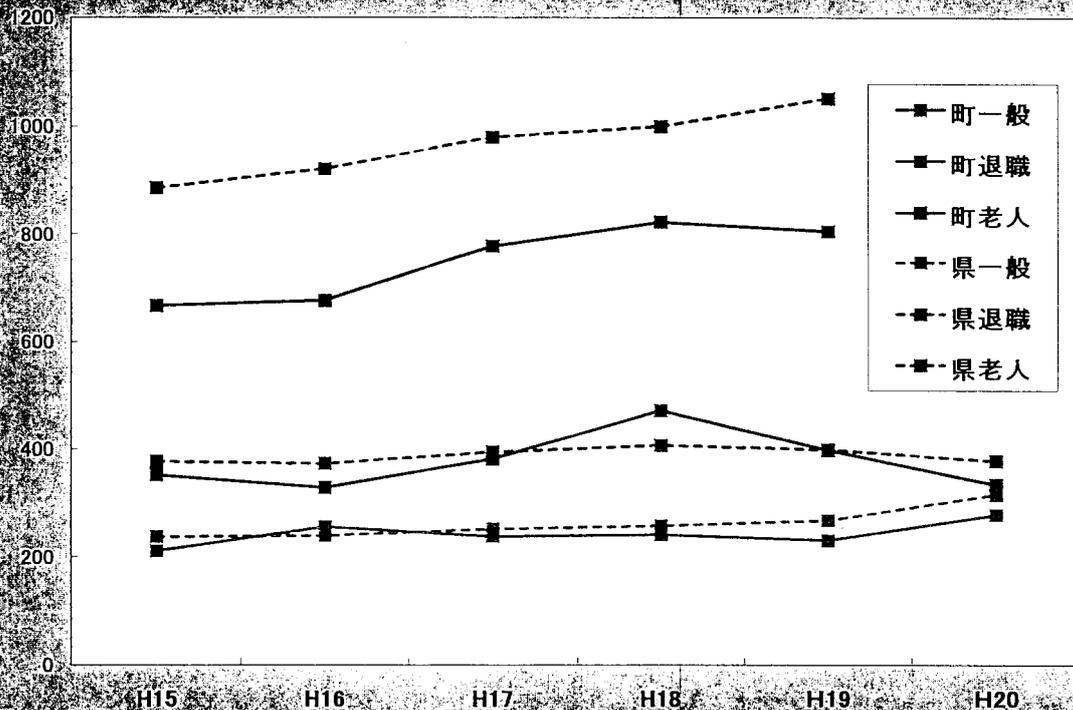
高知県

	H15	昨対伸率	H16	昨対伸率	H17	昨対伸率	H18	昨対伸率	H19	昨対伸率	H20	昨対伸率	H15から H20平均値
一般	238,383	-	240,458	0.87%	251,609	4.64%	258,046	2.56%	267,667	3.73%	315,307	18%	261,912
退職	377,318	-	372,946	-1.16%	393,686	5.56%	406,022	3.13%	428,153	5.45%	377,104	-12%	392,538
老人	884,921	-	920,504	4.02%	979,616	6.42%	1,000,596	2.14%	1,051,348	5.07%			967,397

(単位:円)

国保医療費

(一人当たり年間)



栲原の健康の現状

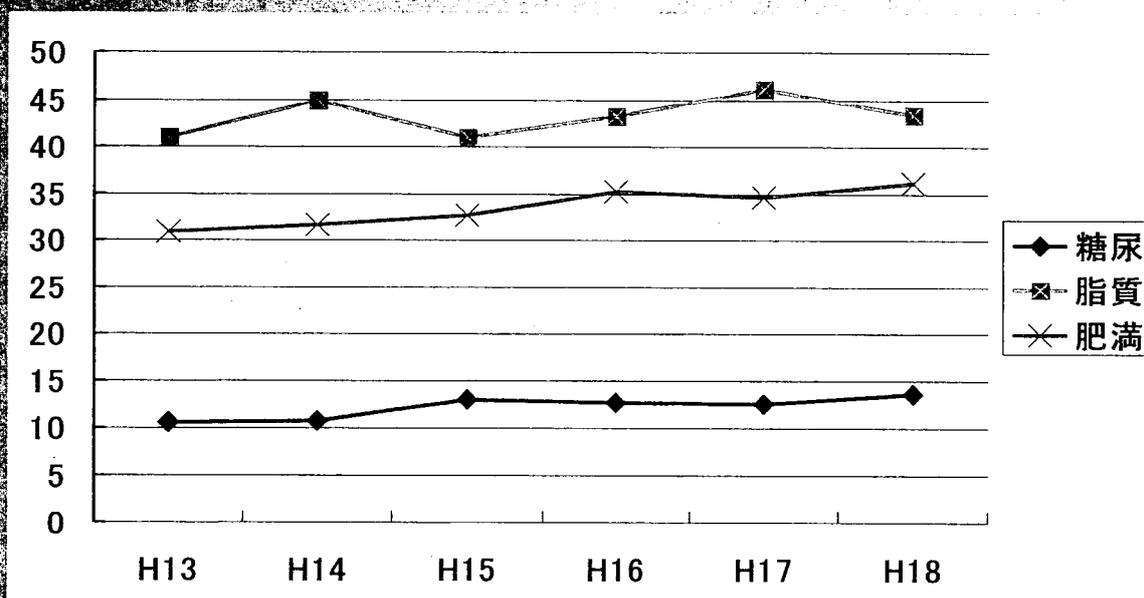
★全国と比較した指標はよい。

- ・全死亡は全国より低位：標準化死亡比85、約1歳長寿
- ・メタボ関連死亡は全国と比較すると低位：心疾患標準化死亡比65(平成17年)

★しかし、経年変化で見ると、悪化の一途

- ・国保レセプトで糖尿病患者の増加、心筋梗塞死亡の増加、糖尿病及び腎性腎臓病による人口透析の増加
- ・健診受診者の肥満者の割合が3割で県より高い。
- ・運動している人の割合が県より低い。
- ・野菜を食べる割合が年齢が下がるごとに低下

健診における生活習慣病予備軍の発生率の推移



梶原の原因別死亡数の推移

原因	‘74-83の 10年	‘95-04の 10年
脳出血	84人	32人
脳梗塞	47人	63人
急性心筋梗塞	22人	40人

疾病構造の変化 ← 生活習慣の変化 (欧米化・手軽さ・安易化・車社会)

- 17 -

梶原町のこれまでの取組み①

国保生活習慣改善モデル事業

(平成13年度～平成16年度)

保健事業の本格的な評価

健康長寿な町の要因が
明確になった。

- ・よい自然環境
- ・健康な食事と生活習慣
- ・人と人のつながりある。
- ・これまでの保健医療活動

健康課題も明確になった。

- ・脳出血が多い。
- ・働き盛りの男性が早世
- ・人と人のつながりが薄れている。
- ・優れた生活習慣が若い世代に引き継がれていない。



健康長寿の里づくり計画

- 18 -